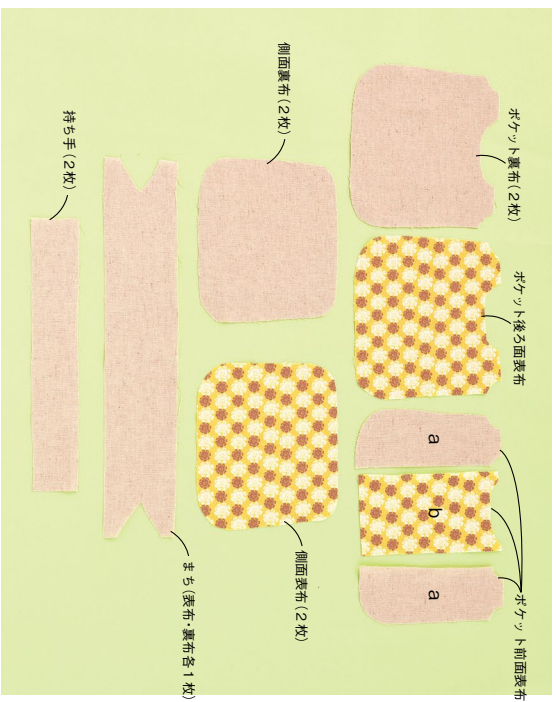


1 布をカットします



それぞれのパーツを指定以外は各1枚裁つ。縫い代は指定以外1cmつける。



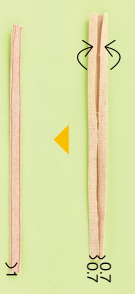
ハンドル付きがま口ポーチを作ってみましょう!

※わかりやすく説明するため、糸の色を変えています。



材料 ポケット前面表布
a・ポケット裏布・側面表布・持ち手45×50cm、ポケット前面表布
b・ポケット後ろ面表布・側面表布35cm四方、接着芯30×15cm、接着キルト芯20×40cm、1.6cm幅レース25cm、12.5cm幅×高さ5cm角形口金(縫いつけタイプ)。

2 持ち手を作ります



写真のように長辺を折り、二つ折りにして縫う。2本作る。

3 ポケットを作ります



ポケット前面表布aとbをはぎ合わせ、縫い代を割る。



側面表布にポケット前面を重ね、まち針で固定し、底から縫い止まりまで、ミシンで仮どめする。後ろ面も同様にする。



2とまちを中表に合わせて、まち針で固定して縫う。

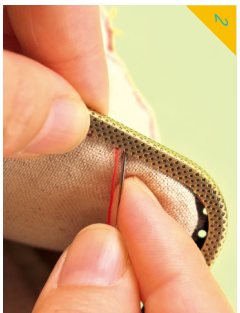
4 表袋を作ります



側面表布とまち表布の裏に接着キルト芯を貼る。



4 内側から見ても、縫い目を自立させることなく、しっかりと縫いつけることができました。



2 裏側に針を刺す位置は、最初に針を出した位置から0.1cmほど隙に刺す。こうすると裏から見ても縫い目が自立せず美しく仕上がる。



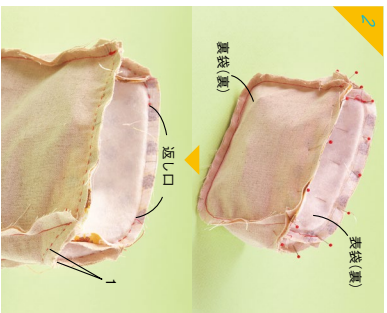
3 角は目打ちでしっかりと押し込む。



「縫いつけタイプのがま口は、しっかりと固定できるのでお気に入り。口金と本体の中央を合わせてから左右に縫えば、ずれることはありません。仕上げにお好みでコーストジュをつけて、おめかしを！」(平松さん)



5 中央に戻り、反対側も7〜の要領で縫う。



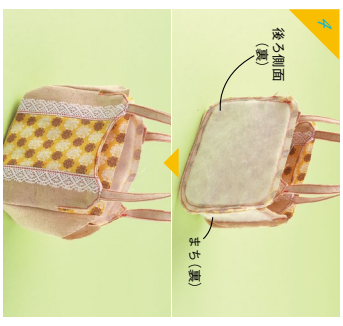
2 まち針で固定し、返し口を残して口側を縫う。



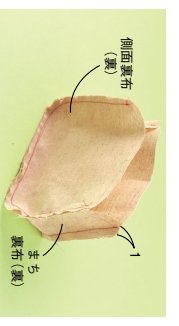
4 裏に返し、返し口をとじる。



7 口側のがま口をつける。側面表布の中央から針を出し、がま口の中央の穴に通して糸を出す。返し縫いの要領で、がま口の端まで縫い進める。



4 後ろ面も3と同様にまちを縫い、表に戻す。



5 側面裏布とまち裏布を中央に合わせて縫う。



6 裏袋と裏袋を中央に合わせる。このときホケテと口と持ち手を折り込むようにして中に入れる。

7 がま口をつけます

5 裏袋を作ります

6 まとめます

ハンドル付きがま口ポーチ

